

# みんなのひろば

まちの話題を紹介します



▲ライトアップを楽しむ観光客

1月27日から2月3日の間、日本の原風景が残る美山かやぶきの里で、14回目となる「雪灯廊」が開催されました。かやぶき民家のライトアップを一目見ようと、親子連れや友人、恋人同士など数多くの観光客が訪れ、カメラで撮影したりライトアップされた集落内を散策したりする姿がありました。また、初日と最終日には打ち上げ花火が催され、冬の寒空に広がる大輪の花に会場は大いに賑わいました。

18軒のかやぶき民家のライトアップと観光客らが作る雪の作品や灯籠などが並ぶ光景は、訪れた人を郷愁へといだきます。



▲(左)寒空に打ち上がるスターマイン  
(右)田んぼやあぜ道に並ぶ雪灯廊

## 「かやぶき民家の雪化粧と光の共演」

1 / 27 / 2 / 3 第14回 美山かやぶきの里「雪灯廊」

## 「女性団体のつながりを広げていく」

(2 / 4 つながろう女性の輪)

2月4日、市内で活躍する女性団体同士の交流を目的に「つながろう女性の輪」と「第35回きさらぎフェア」が国際交流会館で開催されました。

当日、会場となった地階のロビーでは、さまざまな女性団体の活動紹介をはじめ、フラワーアレンジメント体験講座や手作り作品の展示、販売などが行われました。またコスモホールでは、日本で唯一のヴァイパーヴァイオリン(電子ヴァイオリン)奏者の大城敦博さんおおしろあつひろによるソロ演奏「琉球ヴァイオリンコンサート」が開催され、大城さんの演奏に会場は和やかな音色に包まれました。



▲ヴァイパーヴァイオリンを演奏する大城さん

## 「えんぴつ削りから 美しさと楽しさを」

(2 / 4 第7回全国えんぴつ削り大会)



◀手元を意識を集中してえんぴつを削る参加者

2月4日、小刀でえんぴつを削る「全国えんぴつ削り大会」が国際交流会館イベントホールで開催されました。

本大会は、「子どもにえんぴつ削りを通して、刃物の危険性や道具の使い方、手を動かすことの楽しさを知るきっかけになれば」という実行委員会の思いからスタートし、今年で7回目を迎えました。

当日は、大人の部と子どもの部合わせて40人が参加し、集中して削る姿がありました。また、互いの技量が拮抗し、審査員が悩む場面もあり、会場は大いに盛り上がりました。